

名張市男女共同参画基本計画にかかる 具体的施策の「実施状況報告書」について

平成 30 年度名張市男女共同参画推進審議会（平成 30 年 9 月 5 日）での協議を受けて、「実施状況報告書」にかかる基準等を次のとおり見直し、2018（平成 30）年度版より反映させました。

1. 基準の明確化

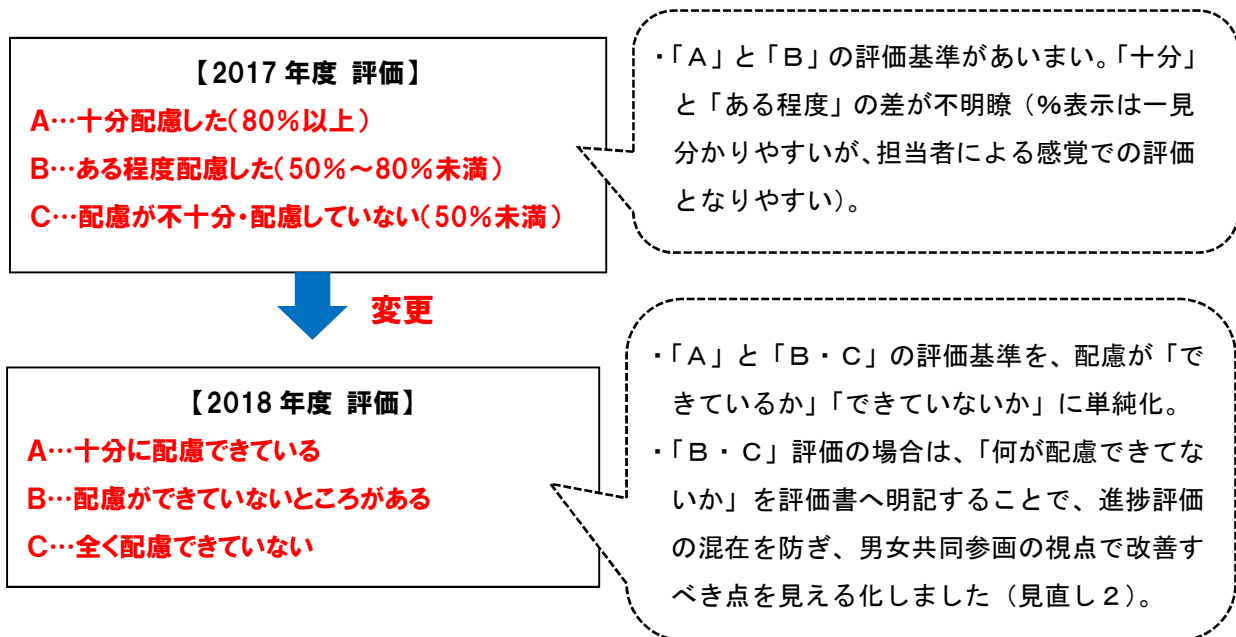
（審議会ご意見）

評価基準が明確でなく、担当室により評価にばらつきがあるとのこと指摘を受けました。

（改善点）

2017 年度版は、評価基準があいまいであったため、担当室によって評価にばらつきが生じていました。さらに、実施状況報告書に記載の評価は、「男女共同参画の視点で、当該事業がどの程度配慮できているのか」を示す「視点評価」ですが、「事業進捗にかかる評価」との認識で評価されている場合が散見されたため、評価基準を次のとおり見直しました。

見直し1. 配点A・B・Cの評価区分を明確化



◎評価はあくまで「男女共同参画の視点」で

視点評価（A～C）については、「合理的な理由なく、性別により、事業への参加・利用制限をしていないか」などの男女共同参画の視点に基づいて、当該事業がどの程度配慮できているのかを評価するものです。そのため、評価区分の明確化と同時に、**取組の進捗状況は考慮しないことを担当室に改めて周知しました。**

なお、取組の進捗状況については、取組にかかる数値目標の推移により確認します（当該シートにおいて進捗状況を考慮してしまうことで、全体として評価にばらつきが出ることになります）。

見直し2. 「B・C」評価については、配慮できていない理由を明記

視点評価「A」の場合は、記載内容を統一。また、視点評価「B・C」の場合は、「男女共同参画視点評価理由」欄に、男女共同参画の視点で配慮できていない理由を必ず記載することとしました。

※「B・C」評価（配慮ができていないところがある）の理由を評価シートに分かりやすく記載するために、2017年版シート「評価理由・成果」欄を「男女共同参画視点評価理由」欄に変更しています。

従来の「評価理由・成果」欄を「男女共同参画視点評価理由」欄に変更

● 個別評価が全て「A」の場合

・「男女共同参画視点評価理由」欄に、

- ① 「各視点において、十分に配慮しています」と記載しています。
- ② 特に「男女共同参画の視点」で配慮した点等があれば併せて記載しています。

視点評価		男女共同参画 視点評価理由
個別評価	全体評価	
① A	A	・各視点において十分に配慮しています。 ・就職フェアのポスターには性別による固定概念にとらわれることなく、男性保育士のイラストも加えて作成しました。
② A		
③ A		
事業の方向		②
継続		

● 個別評価に「B」や「C」が含まれる場合

- ③ 「男女共同参画視点評価理由」欄に、どういった配慮が足りなかったのかを記載しています。
- ④ 「今後の方向性・改善方法」欄に、求められる配慮に対する改善方法等（B・C評価の対応策）を記載しています。

事後評価				男女共同参画 視点評価理由	今後の方向性 ・改善方法
事業実績		視点評価			
取組実績	課題	個別評価	全体評価		
・子育て支援員研修を実施することで、子育て支援員やボランティアの養成の充実と増員を図り、ファミリーサポート事業の充実や子育て支援活動を推進しました。 ・子育て支援員のうち小規模保育、保育所朝タパートなどの就労に繋がる方がいました。かがやきボランティアとしてかがやき事業や健康子育て支援室の事業に協力してくれています。 ▼なばり子育て支援員研修受講者総数76名 ▼子育てボランティア登録（新規7名） ▼ファミリーサポートセンター援助会員（新規8名）両方会員（1名）	・各機関からの託児の要請が増えている中で、子育て支援員やボランティアの地域、託児協力への積極的な参加が課題です。 ・子育て支援員研修受講者や子育てボランティア登録者、ファミリーサポートセンターへの男性の参画が少ない状況です。	① A	A	③ 慣習や意識等により、男性の参加が少ないと考えられるため、男性の参加を促す取組みが求められます。	・今後も子育て支援員やボランティアの充実増員に努め、子育て支援活動（地域の広場事業・託児事業）を支援していきます。 ④ 子育て分野への男性の参画の必要性を訴えていく必要があります。
		② B			
		③ A			
		事業の方向			

※個別評価が「-」（事業を実施していない）の場合は、事業を実施していない理由を「課題」欄に記載。「男女共同参画視点評価理由」欄には、「評価なし」と記載。「今後の方向性・改善方法」欄に、（昨年度に実施していない事業を）いつ・どのように実施していくのかを明記しています。

見直し3. 3つの評価視点を明確化しました

旧

【2017年度 評価の視点】

① **企 画**…性別にかかわらず、事業効果が期待できるような事業内容としているか
 具体例 (1) 企画・立案・実施の各段階で男女共同参画の視点が及ぶよう配慮しているか。
 (2) 性別に関わりなく事業効果が及ぶよう配慮しているか。
 (3) 性別によるニーズの違いを把握した上で配慮しているか。
 (事業の開催時間帯、曜日、託児付きの配慮など。)

② **ジェンダー指標**…性別にかかわらず事業参加やサービス利用ができるよう配慮しているか
 具体例 (1) 性別に関わりなく事業に参加できるか。(参加者の性別の想定)
 (2) 性別に関わりなく制度やサービスを利用できるか。(利用者への公平性の想定)
 (3) 女性の参画や活躍を促すよう配慮しているか。

③ **表 現**…事業やサービスの広報や啓発、実施において性別に配慮した表現や対応になっているか。
 具体例 (1) 広報、ホームページなどの情報提供、啓発において、イラストや言葉、文章表現などが性別に基づく固定概念に捉われていないか。
 (2) 事業の実施やサービスの提供において、性別に配慮した対応をしているか。

【具体例】

評価視点の違いが不明瞭なため、評価しにくく(評価がばらつき)、市民からも分かりにくい



① ~ ③ の具体例について、項目ごとに違いを明確にし、評価を分かりやすくしました。
 さらに、各取組みの参加・利用者等について、性別の偏りや、配慮の必要性について記載することとし、男女共同参画の視点における課題の見える化を図りました(次ページ参照)。

新

【2018年度 評価の視点】

① **企 画**…性別にかかわらず、事業効果が期待できる事業内容としているか
 具体例 (1) 事業の企画・立案・実施の各段階で、男女共同参画の視点が及ぶよう配慮しているか。
 (2) 合理的な理由なく、性別により、事業への参加・利用制限をしていないか。
 (3) 性別により特別な配慮(開催時間帯、曜日、託児等)が必要であれば、適正に配慮しているか。

② **ジェンダー指標**…ジェンダー(慣習や意識等に基づく社会的性差)にかかわらず、事業参加やサービス利用ができるよう配慮しているか
 具体例 (1) 慣習や意識等により、女性(男性)の参加(参画)・利用が少ない(しにくい)と考えられる場合、女性(男性)の参加(参画)・利用を促すための配慮(取組み)をしているか。
 (2) 従来、女性(男性)の参画が少ない分野・テーマと考えられる場合、女性(男性)の参画や活躍を促すための配慮(取組み)をしているか。

③ **表 現**…事業やサービスの広報や啓発、実施において性別に配慮した表現や対応になっているか。
 具体例 (1) 広報や啓発、事業実施の際に、性別に基づく固定概念に捉われた表現(イラストや言葉、文章など)を使用していないか。
 (2) 合理的な理由なく、性別により、広報や啓発の対象を限定していないか。

見直し4. 参加・利用者を伴う取組みは、男女比率について明記

各取組みの参加・利用者等について、性別の偏りや、配慮の必要性について記載することとし、男女共同参画の視点における課題の抽出を図りました。

◎シートにおいては、参加・利用者等について性別の割合で偏りがある（概ね7：3程度以上の偏り）場合において、配慮が必要かどうかを判断し、対応策等を記載しています。

▼偏りがあり、配慮が必要と考えられる場合の記載例

事後評価				男女共同参画 視点評価理由	今後の方向性 ・改善方法			
事業実績		視点評価						
取組実績	課題	個別評価	全体評価					
・子育て支援員研修を実施することで、子育て支援員やボランティアの養成の充実と増員を図り、ファミリーサポート事業の充実や子育て支援活動を推進しました。 ・子育て支援員のうち小規模保育、保育所朝夕パートなどの就労に繋がる方がいました。かがやきボランティアとしてかがやき事業や健康子育て支援室の事業に協力してくれています。 ▼なばり子育て支援員研修受講者総数76名 ▼子育てボランティア登録（新規7名） ▼ファミリーサポートセンター援助会員（新規8名）両方会員（1名）	・各機関からの託児の要請が増えている中で、子育て支援員やボランティアの地域、託児協力への積極的な参加が課題です。 ① ・子育て支援員研修受講者や子育てボランティア登録者、ファミリーサポートセンターへの男性の参加が少ない状況です。	① A	A	③ 慣習や意識等により、男性の参加が少ないと考えられるため、男性の参加を促す取組みが求められます。	④ 子育て分野への男性の参画の必要性を訴えていく必要があります。			
		② B				事業の方向		
		③ A						
						事業の方向		
						継続		
		⑤						

・参加者（利用者）を伴う取組みは、参加人数・実施回数等の数字を用いて具体的に記載しています。

① 性別に偏りがある状況を「課題」欄に記載

※偏りがなければ「参加者（利用者）について、性別による大きな差はみられない」等と記載
偏りについて、意図的な理由があれば、その理由を記載

② 視点評価①～③について「B」「C」評価を検討

③ 「2018 年度評価の視点(P3)」にある具体例のうちどの項目の配慮が足りないのかを考慮し、求められる配慮について「男女共同参画視点評価理由」欄に記載

④ 性別の偏りに対する対応策を「今後の方向性・改善方法」欄に記載

⑤ 「事業の方向」欄の記載を検討

※配慮できていない理由や男女比率に伴う記述など、各シートの記載内容はできるだけ統一感を持たせて、全体として分かりやすくするように工夫しています。

※事前評価において、事業実施前に性別の偏りがあるかどうか分からないため、企画時点での評価になります（農業委員等すでに委嘱等されている場合は、現状での性別での偏りをみて評価します）。

2. 概要版の作成

(審議会意見)

- ・ 実施状況にかかる報告書について、ボリュームが多いため概要版が必要であるとの意見をいただきました。

(改善点)

- ・ 次の要領で概要版を作成しました。
 - (i) 計画と連動して実施状況を確認できるように、基本目標ごとの構成とし、基本目標の概要を記載しました。
 - (ii) 「進捗評価」と「視点評価」が混同されないように、「数値目標の達成状況」を合わせて記載し、特に説明が必要だと考えられる事項を0¥評価分析概要として記載しました。
 - (iii) 「視点評価」の基準と項目についての説明を記載したうえで、基本目標の平均評価と評価分析概要を記載しました。
 - (iv) 「具体施策の評価分析表」のうち、概要版で抜粋掲載するのは次の5項目とし、注視すべき項目を見える化しました。
 - ・ 事後評価でB・C評価が含まれるもの
 - ・ 事前評価から改善したもの
 - ・ 事業の方向性が「継続」以外のもの
 - ・ 昨年度と比べて評価が変わったもの
(2018年版は、基準の見直しにより評価が変わっているものが多いので、抜粋しない)
 - ・ 取組みが進んでいない項目